平成２８年度

首都大学東京
ＦＤセミナー

能動的学習を促進する授業デザイン
― 能動的学習の評価を考える ―

平成28年11月2日(水) 13:30～16:30

会場：首都大学東京南大沢キャンパス 本部棟１階大会議室

基調講演

「アクティブラーニングの評価方法を考える」
岩﨑 千晶 氏（関西大学 教育推進部 教育開発支援センター 准教授）

調査報告

「授業外学習時間が多いのは、どのような学生か」
岡田 佐織 氏（ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室 研究員）

「授業アンケート結果から探る授業外学習時間」
松田 岳士（大学教育センター 教授・ＦＤ委員会委員）

学内事例発表

ルーブリックを用いた学習成果の評価に関する学内の取組事例

「経営学系における教育改革推進事業－中間報告－」
野口 昌良（都市教養学部経営学系 教授）

「ルーブリックを用いた学習評価は学生の主体的学習に役立つか？」
鈴木 準一郎（都市教養学部理工学系生命科学コース 准教授）

※タイムテーブル・講師プロフィールは裏面をご覧ください

参加費無料
事前申込不要
学内外すべての方に
ご参加いただけます

主　催　首都大学東京ＦＤ委員会

お問い合せ先
ＦＤ委員会事務局　教務課教務企画係
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1（京王相模原線「南大沢」駅から徒歩５分）
TEL：042-677-2937　E-mail：fdwww@tmu.ac.jp
ＨＰ：http://www.comp.tmu.ac.jp/FD/

タイムテーブル

13：30～13：35	開会挨拶
13：35～13：40	趣旨説明
13：40～14：40	基調講演「アクティブラーニングの評価方法を考える」 岩﨑 千晶 氏（関西大学 教育推進部 教育開発支援センター 准教授）
	〔休憩〕
14：50～15：20	調査報告①「授業外学習時間が多いのは、どのような学生か」 岡田 佐織 氏（ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室 研究員）
15：20～15：35	調査報告②「授業アンケート結果から探る授業外学習時間」 松田 岳士（大学教育センター 教授・ＦＤ委員会委員）
	〔休憩〕
15：45～16：25	ルーブリックを用いた学習成果の評価に関する学内の取組事例 「経営学系における教育改革推進事業－中間報告－」 野口 昌良（都市教養学部経営学系 教授） 「ルーブリックを用いた学習評価は学生の主体的学習に役立つか？」 鈴木 準一郎（都市教養学部理工学系生命科学コース 准教授）
16：25～16：30	閉会挨拶

総合司会：大杉 重男（都市教養学部人文・社会系国際文化コース 教授・ＦＤ委員会委員）

※テレビ会議システムにより中継：荒川キャンパス管理棟２階大会議室、日野キャンパス１号館２階会議室

講師プロフィール

岩﨑 千晶（いわさき ちあき）氏

関西大学 教育推進部 教育開発支援センター 准教授

専門は教育工学（高等教育における学習環境デザイン）。関西大学総合情報学研究科修士課程修了後、富士ゼロックス株式会社での勤務を経て、関西大学総合情報学研究科博士課程後期課程に入学・修了。博士（情報学）を取得。以来、大学生の学びを育む学習環境のデザインをテーマに研究を続けている。主な著書は、岩﨑千晶編著『大学生の学びを育む学習環境のデザイン―新しいパラダイムが拓くアクティブ・ラーニングへの挑戦―（関西大学出版部）』、久保田賢一、中橋雄、岩﨑千晶著『映像メディアのつくり方（北大路書房）』等。

岡田 佐織（おかだ さおり）氏

ベネッセ教育総合研究所 高等教育研究室 研究員

東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。博士課程在籍中、大学職員として学生調査の企画・運営業務等に従事した後、ベネッセ教育総合研究所に入所。大学事業部、教育事業本部を経て2015年4月より現職。この間、教育研究情報誌『BERD』編集、学生調査・アセスメントテストの設計・分析、大学FD・IRに関するコンサルティング活動等に従事。現在は大学と共同で「学生の学びと成長のプロセス」を可視化する研究に取り組んでいる。